

With [SERIES]  
ウィズシリーズ

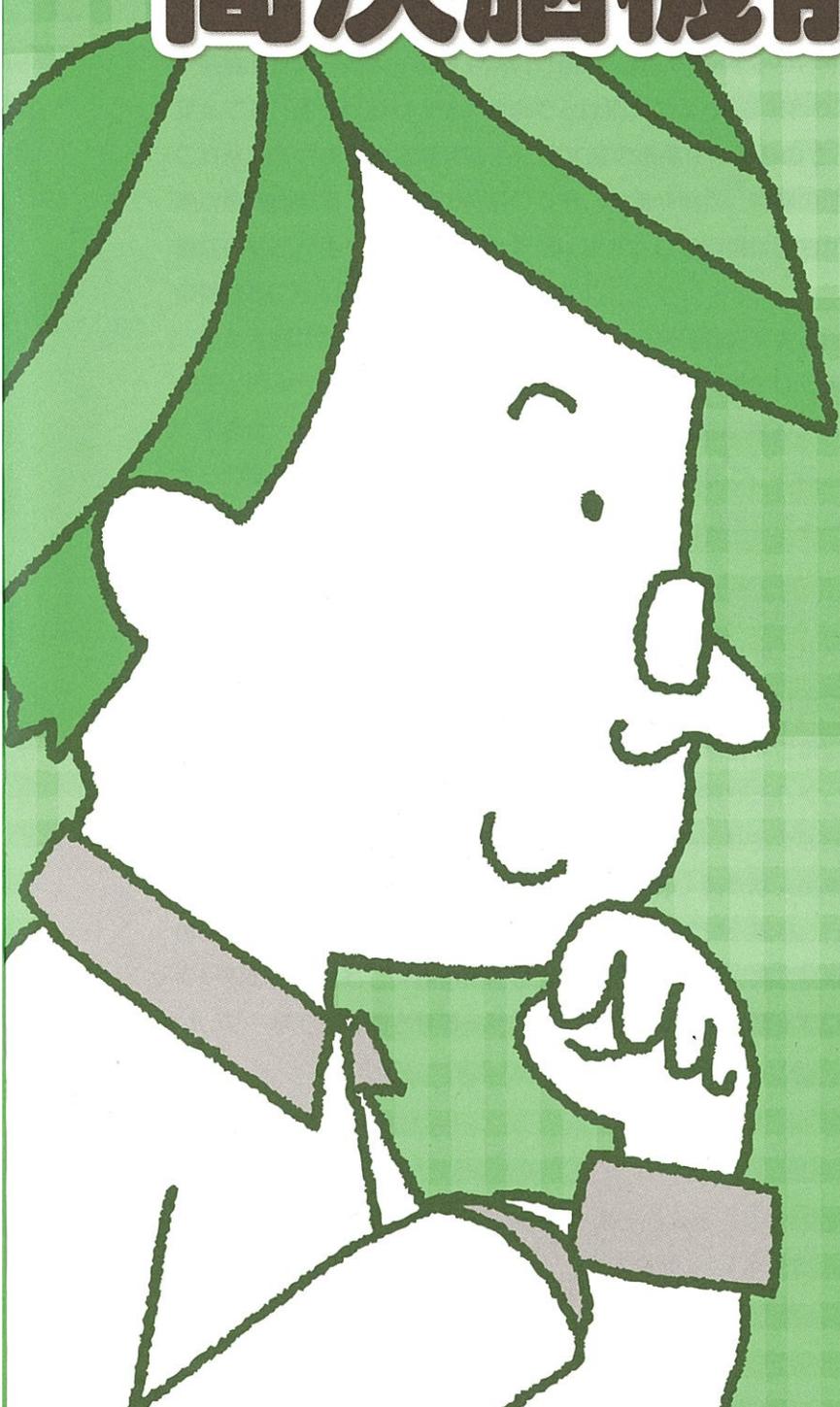
# なるほど 高次脳機能障害

誰にもおきる  
見えない障害

橋本圭司 ● 監修  
HASHIMOTO Keiji

With Higher Brain Dysfunction

朝日新聞厚生文化事業団  
THE ASAHI SHIMBUN SOCIAL WELFARE ORGANIZATION



# PROLOGUE

## プロローグ

家族や友人、知人が事故や病気で倒れ、幸い一命をとりとめ、身体的には問題がないように見えても、「何かが変わった。今までとは別人のよう」と思われる場合が少なからず見られます。これはさまざまな後遺障害をもたらす脳の損傷によるもので、高次脳機能障害と呼ばれます。高次脳機能障害とは、脳の役割のうち、言葉や動作、物事の理解や記憶などにかかわる広範な機能に問題が生じる障害のことを言います。この障害は誰もが当事者になる可能性があり、その数は50万人以上とも言われています。

たとえ病状が回復し退院したとしても、高次脳機能障害と診断を受けた当事者や家族は、この先どのように人生を歩んでいけばよいのか戸惑うばかりです。

本書は、「見えない障害」とも言われる高次脳機能障害を、その障害の理解に始まり、発症から診断、退院、リハビリテーション、社会参加まで、その人の人生にかかわる全体のことを網羅し、やさしく解説しています。また、障害への理解をより深めるために、たくさんの事例を盛り込んでいます。

監修は、豊富な臨床経験をもつ橋本圭司・国立成育医療研究センター・発達評価センター長にお願いしました。リハビリテーションの章では、まず身体の機能を整え、それぞれの機能を調和させることが大切という橋本さんの持論も紹介しています。

私たちがこの本を作成するに当たり、多くの当事者やご家族、関係者取材しました。その結果わかったことは、この障害に対する周囲の理解が乏しく、社会の制度にも地域により格差があり、高次脳機能障害当事者のみならず、家族にも多大な負担を強いている現状です。

当事者や家族がこの障害に対する理解を深め、新たな人生を踏み出すきっかけになればとの思いから書かれたのがこの本です。と同時に、医療、福祉、行政などの関係者だけでなく、広く一般の方々にもご一読いただき、それぞれの立場で高次脳機能障害を正しく理解し、支援について一歩でも前進させる一助にいただければと願っています。

朝日新聞厚生文化事業団

CHAPTER

1

高次脳機能障害とは

- ① 高次脳機能障害とは ..... 8
- ② 高次脳機能障害の原因 ..... 10
- ③ 特徴的な症状 ..... 12



CHAPTER

2

診断、退院から  
社会生活まで

- ① 高次脳機能障害の診断を受ける ..... 26
- ② 発症・受傷から日常生活にもどるまで ..... 28

- CASE1 脳卒中の場合 宮田康弘さん 30
- CASE2 脳卒中の場合 森田直樹さん 32
- CASE3 脳外傷の場合 石黒順子さん 34
- CASE4 脳外傷の場合 安邊真志さん 36



CHAPTER

3

リハビリテーション

- ① リハビリの考え方 ①  
病院より地域、日常生活でのリハビリが有効 ..... 40
- ② リハビリの考え方 ②  
基本的な機能から整えるのがリハビリの原則 ..... 42
- ③ リハビリの考え方 ③  
リハビリで心がけたいこと ..... 44
- ④ 症状別に見る対応の実際 ..... 46



## 社会参加に向けて

- ① 社会生活を始める準備をする …… 64
- ② 当事者や家族会の活動 …… 66
- ③ デイサービス・デイケアを利用する …… 68
- ④ 再び働き始めるために …… 70
- ⑤ グループホームで暮らす …… 76



## 新しい人生への一歩を 踏み出すために …… 78



### ●資料 …… 82

#### COLUMN

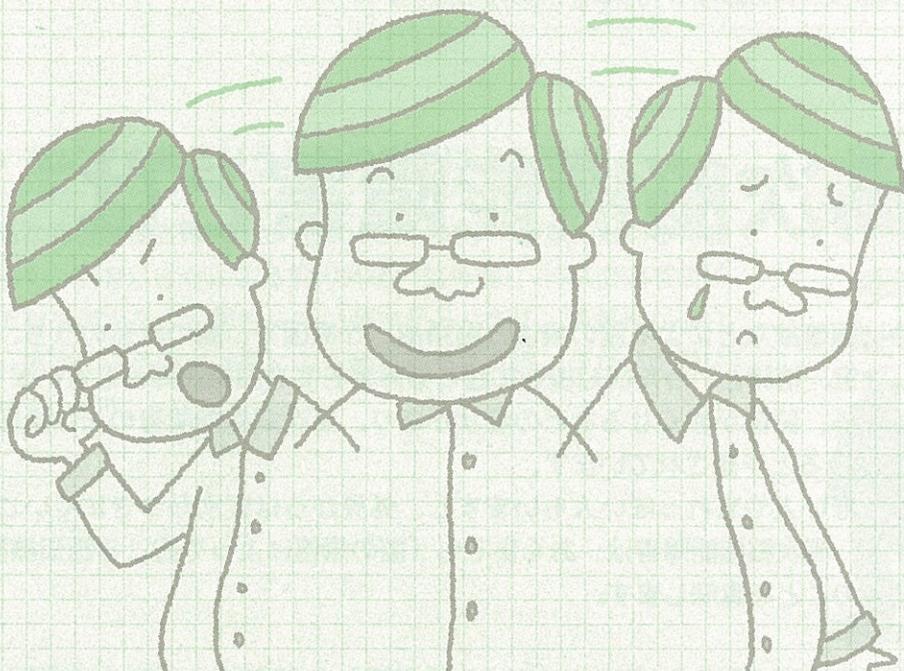
- 障害者手帳行政上の区分 23
- 症状が似ている発達障害・認知症 24
- 柔道事故に潜む危険 38
- 子どもの高次脳機能障害 57
- 社会的行動障害の対応  
一人の少年をめぐって一家族の対応 58
- 社会的行動障害の対応  
一人の少年をめぐって一周回の対応 60

Chapter

1

# 高次脳機能障害とは

高次脳機能障害はなぜ起こるのか、  
その仕組みと主な症状を見ていきましょう。





## 高次脳機能障害とは

脳卒中や交通事故などによる脳の損傷（脳損傷）が原因で、脳の機能のうち、言語や記憶、注意、情緒といった認知機能に起こる障害を高次脳機能障害と言います。怒りっぽくなる、記憶が悪くなるなどの症状があり、高次脳機能障害の人は全国に50万人以上はいると予想されています。

元々怒りっぽい人や忘れっぽい人もいますし、外見からは区別が付きにくいこともありますが、高次脳機能障害は、あくまでも「脳の損傷によって起こる認知機能<sup>※</sup>全般の問題」のことを意味します。

※認知機能…見たり聞いたりして理解する、自分のおかれている状況を認識する、物事を判断する、記憶したり計算する、考えたり学習するといった知的機能のこと

## 高次脳機能とは

脳には主に四つの機能があります。高次脳機能は、そのうちの一つです。

### ① 運動機能

手足を動かす機能です。脳のうち、おでこの裏の**前頭葉**という場所の後ろにある運動野から指令が出ています。

### ② 感覚機能

視覚、触覚、嗅覚、味覚、聴覚などの機能です。手足で触った感覚は脳のとっぺん(**頭頂葉**)、目で見たものは脳の後ろ側(**後頭葉**)、耳から聞こえたもの、においや味は脳の横側(**側頭葉**)から入力されます。

### ③ 生命維持機能

心臓を動かす呼吸や循環、意識や覚醒のための機能です。**脳幹**が司る機能で、これが失われるのが脳死状態です。

### ④ 高次脳機能

①から③の生命維持や運動や感覚・知覚といった基本的な機能以外の、言語・動作・認知にかかわるすべての機能のことで、脳の機能で説明のつく認知機能のことをさしています。脳の**大脳皮質**の面積の3分の2が、この高次脳機能に関係しています。

## → 誰にでも起こりうる脳の損傷による障害

高次脳機能障害は40代から60代では脳卒中が原因となる発症が多く、若者はけがによる脳の外傷(脳外傷)、特に交通事故による被害者が多く、男性に多い傾向があります。高齢化が進む中、高次脳機能障害は誰にでも起こりうる見過ごせない問題になっています。

40代から60代は  
脳卒中による  
高次脳機能障害が多い

